学校評価計画

令和６年度　学校自己評価シート　　福生市立福生第四小学校　校長　　南方　孝之　印

学校教育目標　　進んで学ぶ子　　思いやりのある子　　体をきたえてがんばる子

目指す学校像（ビジョン・ミッション）

学校は子どもたちが認められ、自分に自信をもち、明日への夢と希望を育むところでなければなりません。「元気いっぱい　笑顔あふれる　みんなの学校」を合言葉に、確かな学力の定着と健やかな心と体の育成を目指します。保護者には、教育目標の実現に向けて協力が得られ、教職員と共に教育しようとする意識が感じられる学校を目指します。そしてコミュニティ・スクールとして、地域とともに子どもたちの豊かな学校生活の実現を目指します。

【目指す学校像】	【目指す教師像】	【目指す子ども像】	【その他　特記事項】
①自ら積極的に学び、認め合う授業を通して、確かな学力を身に付ける学校 ②人とのかかわりを大切にして、思いやりのある子どもを育てる学校 ③家庭と連携して望ましい生活習慣を確立し、健やかな身体をつくる学校 ④本物に出会うことで学ぶ意欲を高め、探究心と豊かな人間性を育てる学校 ⑤地域と連携を図り、地域から学び、地域に誇りをもてる子どもを育てる学校	①経営参画意識をもち、組織の一員として貢献する教員 ②子どもの心に寄り添うことのできる人間性豊かな教員 ③“授業は教師の命”と考え、授業力向上に励む教員 ④保護者・地域住民に信頼される教員 ⑤法の遵守、服務の厳正に努める教員	①知徳体の調和がとれ、生きる力を身に付けた子ども ②平和な社会の形成者として、心身が健康で人間性豊かな子ども ③主体的・積極的に学習に取り組み、根気強くやり遂げる子ども ④探究心と向上心をもち、学び続ける力をもつ子ども	コミュニティ・スクールとして、地域・保護者と共に歩む学校を目指す

領域例：学力向上策、生活・進路指導策、人材育成策、研究研修策、学校運営策、特色ある学校づくり策等

領域	三ヵ年経営目標	本年度経営目標	目標達成のための方策	取組指標（教職員の取組）	取組自己評価					成果指標（子ども・生徒等の変容・成果）	成果自己評価					分析・改善策
						当初	中期	年間	評語			当初	中期	年間	評語	
豊かな心の育成	会う	人とのかかわりを大切にして、相手を意識して接することができる子どもを育てる学校	道徳の授業を系統的・計画的に実施し、自他を大切にする子どもを育てる。	・言語活動の工夫による授業改善 ・議論し、考えを深める道徳授業 ・実践的態度につながる授業づくり	目標	70	80	90	B	・学校評価アンケートの結果 ・縦割り班活動の実践状況 ・行事後の子どもの感想	目標	70	80	90	A	「困っている友達がいたら助けているか？」の問いに対し、９割を超える子どもが肯定的評価である。異学年交流を活発に行うことで、相手を思いやる心情が、低学年のうちから少しずつ積み重なっている成果であると考える。
					達成		80	80			達成		80	95		
			人とのかかわりを通して好ましい人間関係を構築し、人権を意識した行動習慣の徹底を図る。	・年3回のふれあい月間の活用 ・外部講師等による体験授業の充実 ・地域人材を活用したクラブ活動	目標	70	80	90	A	・学校評価アンケートの結果 ・体験的な活動の実践状況 ・いじめ件数	目標	70	80	90	A	いじめ未解決件数は減少。学校行事や体験学習では、子どもたちの生き生きとした様子が見られ、充実した学校生活につながっている。次年度も地域との連携しながら、体験活動の充実を図る。
					達成		80	90			達成		80	90		
			基本的な生活習慣を身に付け、規範意識と社会に貢献しようとする精神の高揚に努める。	・あいさつや言葉遣いの指導 ・児童委員会による生活目標の取組 ・ふっさっ子スタンダードの徹底	目標	70	80	90	B	・学校評価アンケートの結果 ・あいさつ運動への取組み状況	目標	70	80	90	B	児童委員が全校朝会で月目標を紹介し、学級での取組につなげることができた。あいさつに関する教員と保護者の自己評価では、肯定的評価が９割を下回り課題が残る。気持ちの良い挨拶ができるよう、さらに取組を工夫していく。
					達成		80	80			達成		80	80		
学力向上	確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ子どもの育成を目指した学校	自ら積極的に学び、認め合う授業を通して、確かな学力を身に付ける学校	確かな学力の定着を目指し、基本的な事柄を繰り返し丁寧に指導する。	・休み時間や放課後の個別指導 ・タブレットを活用したドリル学習 ・読書活動の推進	目標	70	80	90	B	・学力テストの正答率 ・東京ベーシックドリルの到達度 ・タブレットによる学習状況	目標	70	80	90	B	学力の定着に二極化が見られる。休み時間や放課後等、個に応じた指導を積極的に行い、学力の底上げを図る。また、ミライシード活用率７０％を目指す。
					達成		80	80			達成		80	80		
			主体的・対話的で深い学びの実現、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	・ICTを効果的に活用した授業改善 ・校内研究による授業改善 ・ふっさっ子学習スタンダードの徹底	目標	70	80	90	B	・学校評価アンケートの結果 ・授業への子どもの取組状況	目標	70	80	90	B	「すすんで学習に取り組んでいるか？」の問いに対し、８割を超える子どもが肯定的評価である。学びのプロセスに関する校内研究を通して、子どもの主体的な態度が少しずつ向上している。ICT機器の日常的な活用もみられる。
					達成		80	80			達成		80	80		
			家庭と連携し、毎日の家庭学習の習慣化を図る。	・「学年×10分」の家庭学習の定着 ・子ども自身が選択できる家庭学習 ・自発的に取り組む自主学習	目標	70	80	90	A	・学校評価アンケートの結果 ・ミライシードの活用状況 ・自主学習ノート等成果物	目標	70	80	90	B	「家で勉強をしていますか？」の問いに対し、８割を超える子どもが肯定的評価である。ふっさっ子広場での学びの時間が、低学年の学習の習慣化につながっている。
					達成		80	90			達成		70	80		
体力の向上	進んで身体を鍛え、自己の健康の保持増進に努める子どもの育成を目指した学校	自らを鍛え進んで健康な体づくりをする子どもの育成を目指す学校	子どもの体力の向上を目指し、持久走週間や縄跳び週間を活用する。	・縄跳び週間の取組（11月） ・持久走週間の取組（2月） ・カードの活用	目標	70	80	90	B	・休み時間の過ごし方 ・カードの取り組み状況 ・持久走や縄跳びの参加状況	目標	70	80	90	A	カードを活用することにより、体育の時間等も活用して体力向上に取り組む姿が見られた。体調不良を除き、縄跳び及び持久走週間への子どもの参加状況はほぼ100%を達成。
					達成		80	80			達成		80	90		
			走力や投げる力の向上を目指し、体育授業の改善を図る。	・体力測定の結果分析 ・体育授業の授業改善 ・OJTによる指導スキルの向上	目標	70	80	90	B	・体力測定の結果 ・子どもの体育の授業への取組状況	目標	70	80	90	B	体験活動を
					達成		80	80			達成		80	80		
			子どもの危機回避能力の向上を目指し、安全教育プログラム等の活用を図る。	・地域安全マップの作成（3年） ・総合防災訓練の実施（10月） ・不審者対応訓練の実施（１月）	目標	70	85	90	A	・避難訓練等への子どもの取組状況 ・校内で起きるけがの状況 ・感染症等の罹患状況	目標	70	85	90	A	市の総合防災訓練のメイン会場になることにより、子どもの防災意識を高めることができた。今後はSNSの適切な利用について、校内の安全指導とともに家庭と協力しながら、情報モラル教育を推進していく。
					達成		85	90			達成		85	90		
特色ある学校づくり	子どもや地域の実態を基盤に、小規模校のよさを生かす教育活動を創造する学校	地域との連携を強化し、地域から学び、地域に誇りをもつ子どもを育てる学校	コロナで中断していた体験活動を再開する。	・教員とCS委員との意見交換会 ・国際交流の再開	目標	70	85	90	A	・学校評価アンケートの結果 ・体験活動への子どもの取組状況	目標	70	85	90	A	季節ごとの自然体験や地域を舞台とした体験活動を積極的に行うことができた。また、都の起業家教育や防衛省の日米文化交流に参加するなど、他機関と連携した体験活動も推進することができた。
					達成		85	90			達成		85	90		
			保護者や地域の人材を活用した新たな実践を開発する。	・地域人材を活用した行事への取組 ・補習教室における高校生の支援	目標	70	80	90	A	・学校評価アンケートの結果 ・活動への子どもの取組状況	目標	70	80	90	A	運動会で取り組んだ福生の踊りや音楽会で演奏した天王ばやしでは、地域人材を招いて指導いただいた。外部指導者による着衣水泳や、サマースクールにおける高校生の見守り等、継続して行うことができた。
					達成		80	90			達成		80	90		
			保護者・地域と連携した学校行事や地域行事を推進する。	・学校行事への支援依頼 ・CS委員会及びPTAと連携した活動 ・学校行事等の広報活動	目標	80	85	90	A	・学校評価アンケートの結果 ・保護者の参加状況	目標	80	85	90	A	全校で取り組んだ音楽会や笑顔と学びの体験活動プロジェクトでは、PTAやCS委員の力を借りて実施することができた。子どもたちの豊かな学校生活の実現を目指し、今後も家庭・地域と連携を図る。
					達成		85	90			達成		85	90		